



株式会社東京機械製作所

証券コード：6335

株主の皆さまへ

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに当社第168期中間報告書（2024年4月1日から2024年9月30日まで）をお届けいたします。



2024年12月

代表取締役社長 都並 清史

営業の概況

	当中間期	前年同期比	前中間期
売上高	3,674百万円	△ 16.9%	4,425百万円
営業利益	207百万円	△ 35.6%	323百万円
経常利益	305百万円	△ 11.9%	346百万円
親会社株主に帰属する中間純利益	84百万円	—	△ 233百万円

当中間連結会計期間（2024年4月1日～2024年9月30日）におけるわが国経済は、円安や物価上昇が続き個人消費に足踏みが見られるものの、設備投資の持ち直しの動きや雇用情勢の改善など景気は緩やかに回復しております。

当社グループが事業を展開する新聞業界は、インターネットの普及による情報ツールの多様化、特にスマートフォンなどの情報端末の進化に伴い、紙の新聞需要が減少し続け販売部数の低迷や広告収入の減少に歯止めがかからない状況が続いています。このため、新聞社は設備投資に対して慎重な姿勢を維持しており、当社にとっては厳しい事業環境が続いております。

このような状況の中で、当社は、「顧客の課題に向き合い、柔軟なカスタマイズ力により新たな価値を創造し、課題解決をサポートする」という経営理念を掲げ、新聞輪転機を中心とした事業を展開してまいりました。今後も公共性の高い新聞発行事業を支える社会インフラを提供し続ける使命を引き続き担ってまいります。輪転機事業の将来に向け

た取り組みとして、「次世代型標準輪転機カラートップ・エコワイドⅢ」を当社製輪転機ユーザーである新聞社様と共同開発中です。また、新規事業へも注力しており、FA市場への展開を本格化させております。FA事業では、AGV（無人搬送車）の製造・販売に加えて、グループ内にロボットSI事業部を立ち上げ、AGV技術とロボット技術を統合した総合的なシステムを提供し、お客様の作業の効率化、自動化を支援してまいります。

当中間連結会計期間においては、輪転機事業で「カラートップ・エコワイドⅡオフセット輪転機」を南日本新聞社様、琉球新報社様に納入しました。また、複数の新聞社様から受注済みの輪転機を生産中です。FA事業では、AGV「V1000-JLS」を株式会社アイセロ様に納入したほか、パナソニック エナジー株式会社様より受注の「V1900-H」などを生産中です。

株主の皆さまには、今後とも変わらぬご支援・ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

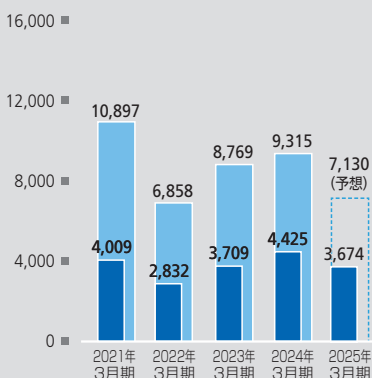
通期の見通し

	当期予想	前期比	前期実績
売上高	7,130百万円	△ 23.4%	9,315百万円
営業利益	70百万円	△ 88.6%	614百万円
経常利益	160百万円	△ 75.4%	650百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	△ 210百万円	—	△ 83百万円

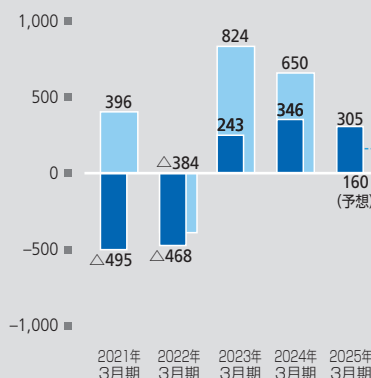
財務ハイライト

■ 中間期 ■ 期末

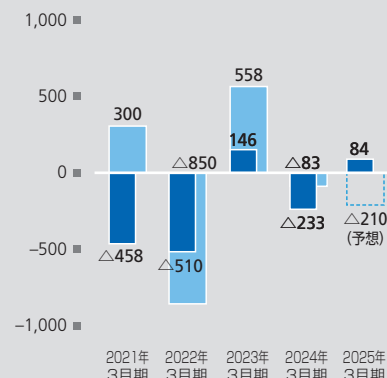
売上高 (単位：百万円)



経常利益 (単位：百万円)



親会社株主に帰属する中間(当期)純利益 (単位：百万円)

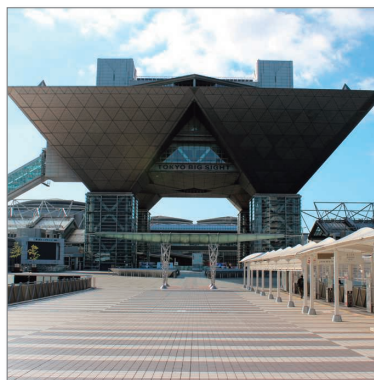


TOPICS 1

「国際物流総合展 Logis-Tech Tokyo 2024」に出展

去る2024年9月10日から13日まで、東京ビッグサイトにおいて「国際物流総合展Logis-Tech Tokyo 2024」が開催され、当社グループも2年前に引き続き、出展いたしました。今回は前回の3倍の広さのブースにて、当社グループの最新技術を備えたロボット搭載型無人搬送車・牽引型無人搬送車・V1000・V2000・自律走行清掃ロボット「一望打塵」の実機デモンストレーションを実施いたしました。前回来場者の4倍にあたる1,800人以上の方にご見学いただきました。特にロボット搭載型無人搬送車と自律走行清掃ロボット「一望打塵」にご注目いただき、多くのお引き合いをいただいております。

今後も新たな技術開発に邁進し、FA事業の拡充に全力で取り組んでまいります。



▲ 国際物流総合展会場の東京ビッグサイト



▲ ロボット搭載型無人搬送車



▲ AGV [V2000]



▲ 自律走行清掃ロボット「一望打塵」

TOPICS 2

自律走行清掃ロボット「一望打塵 (いちもうだじん)」の完成



▲ 自律走行清掃ロボット「一望打塵」

かねてより西尾レントオール株式会社と提携し、共同開発を進めてきた自律走行清掃ロボット「一望打塵 (いちもうだじん)」が完成し、国際物流総合展2024にて初出展いたしました。粉塵・砂利・木片・ペットボトル大のゴミを集塵し、タブレット端末による簡単な操作で、どんな環境下でも柔軟に対応いたします。独自のアルゴリズムによって、安定した自律走行を実現させ、今後の当社グループの新たな主力製品のひとつになると確信しております。国際物流総合展2024にて見学された多くのお客様よりお問い合わせを頂戴しております。



▲ 新開発のアルゴリズムにより、指定エリアの最適清掃ルートを自動作成





▲ 始動式でテープカットする普久原均琉球新報社社長（左から2人目）と都並清史東京機械製作所社長（同3人目）

本年7月31日、沖縄県那覇市天久にある琉球新報社様制作センターにて、「カラートップ・エコワイドⅡ」オフセット輪転印刷機の始動式が執り行われました。

当日は、琉球新報社から普久原均社長をはじめとする幹部の皆さまがご出席され、当社からは代表取締役社長の都並清史が出席しました。普久原社長は「新しい輪転機の機能を最大限に活かして報道と広告の面で活用し、県民の皆さまにいい紙面を届けてまいりたいと思います。」とコメントされ、新輪転機の稼働を祝いました。

ご購入いただいた「カラートップ・エコワイドⅡ」は4×1型の輪転機で、紙面品質の向上と作業効率の改善を追求するとともに、省資源・省電力などの環境性能も備えています。最高印刷速度は16万部/時で、40ページの印刷が可能です。カラー面はこれまでの最大16ページから、24ページまで対応できるようになり、さらに折機を2台搭載しているため、2媒体の同時印刷が可能です。

連結財務諸表（要旨）

連結貸借対照表

（単位：百万円）

科目	期別	当中間期末 (2024年9月30日現在)	前期末 (2024年3月31日現在)
資産の部			
流動資産		11,150	11,912
固定資産		3,145	3,288
有形固定資産		2,751	2,778
無形固定資産		17	11
投資その他の資産		376	498
資産合計		14,295	15,200
負債の部			
流動負債		2,826	3,584
固定負債		2,499	2,504
負債合計		5,325	6,089
純資産の部			
株主資本		7,776	7,954
資本金		4,435	4,435
資本剰余金		1,335	1,335
利益剰余金		2,272	2,188
自己株式		△ 266	△ 4
その他の包括利益累計額		132	122
非支配株主持分		1,061	1,034
純資産合計		8,970	9,111
負債・純資産合計		14,295	15,200

注：金額は表示単位未満を切り捨てて表示しています。

連結損益計算書

（単位：百万円）

科目	期別	当中間期 (2024年4月1日から 2024年9月30日まで)	前中間期 (2023年4月1日から 2023年9月30日まで)
売上高		3,674	4,425
売上原価		2,846	3,508
売上総利益		827	917
販売費及び一般管理費		619	593
営業利益		207	323
営業外収益		107	25
営業外費用		9	1
経常利益		305	346
特別利益		3	3
特別損失		49	476
税金等調整前中間純利益又は 税金等調整前中間純損失(△)		259	△ 125
法人税、住民税及び事業税		54	73
法人税等調整額		92	8
中間純利益又は中間純損失(△)		112	△ 207
非支配株主に帰属する中間純利益		28	25
親会社株主に帰属する中間純利益又は 親会社株主に帰属する中間純損失(△)		84	△ 233

注：金額は表示単位未満を切り捨てて表示しています。

連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

科目	期別	当中間期 (2024年4月1日から 2024年9月30日まで)	前中間期 (2023年4月1日から 2023年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー		△ 1,587	187
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 16	△ 8
財務活動によるキャッシュ・フロー		△ 8	△ 8
現金及び現金同等物に係る換算差額		△ 0	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)		△ 1,612	171
現金及び現金同等物期首残高		8,491	6,241
現金及び現金同等物中間期末残高		6,878	6,413

注：金額は表示単位未満を切り捨てて表示しています。

会社概要 (2024年9月30日現在)

商号	株式会社東京機械製作所
創業	1874(明治7)年
設立	1916(大正5)年2月15日
資本金	44億3,500万円
上場証券取引所	東京証券取引所スタンダード市場
従業員数	213名(連結286名)
本社	〒108-8375 東京都港区三田三丁目11番36号三田日東ダイビル6階 電話：03(3451)8141(代表)
かずさテクノセンター	〒292-0818 千葉県木更津市かずさ鎌足一丁目6番 電話：0438(20)5551(代表)
羽田テクノセンター	〒144-0041 東京都大田区羽田空港一丁目8番2号 電話：03(5708)7730(代表)
営業所	関西(大阪)

役員 (2024年9月30日現在)

取締役	代表取締役社長	都 並 清 史
取締役		上 等 吉 則
取締役		中 野 実
取締役		米 本 裕 至
取締役		安 中 正 弘
取締役		南 部 實
取締役		竹 田 い さ か
監査役	常勤監査役	神 崎 幸 雄
常勤監査役		戸 山 幹 夫
監査役		大 山 敬 三

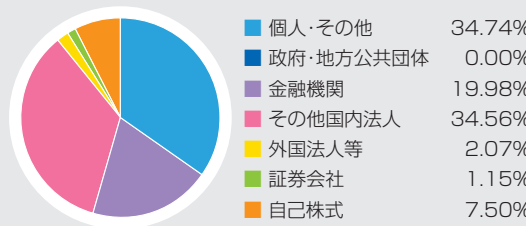
株式の状況 (2024年9月30日現在)

発行可能株式総数	36,000,000株
発行済株式総数	8,728,920株 (自己株式654,955株を含む)
株主数	5,356名(前期末比6名減)
大株主(上位10名)	

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社読売新聞東京本社	2,182	27.02%
損害保険ジャパン株式会社	500	6.19%
株式会社三井住友銀行	423	5.24%
大田 昭彦	337	4.18%
株式会社中日新聞社	229	2.84%
株式会社みずほ銀行	212	2.62%
株式会社日本カストディ銀行(信託口4)	197	2.45%
株式会社朝日新聞社	187	2.32%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	172	2.14%
住友生命保険相互会社	138	1.71%

(注) 1. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。
2. 当社として実質所有が確認できた株式会社朝日新聞社の所有株式数については合算(名寄せ)しておりますが、その他については、株主名簿の記載どおりに記載しております。

所有者別分布状況



所有株数別分布状況



株式についてのご案内

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
剰余金の配当基準日	3月31日 (中間配当を行う場合は9月30日)
定時株主総会	毎年6月下旬
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
事務取扱場所	みずほ信託銀行株式会社
公告方法	電子公告とします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

郵便物送付先・お問い合わせ先

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4
電話お問い合わせ先	お取引の証券会社になります。	0120-288-324(フリーダイヤル)
お取扱店		みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店
ご注意	未払配当金の支払 ^(*) 、支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	単元未満の買取・買増以外の株式売買はできません。 電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある場合は至急ご連絡ください。

*未払配当金のみ、みずほ銀行全国本支店でもお取扱いいたします。

単元未満株式(1~99株)の買取・買増請求制度のご案内

当社株式の証券市場での取引は100株単位となっておりますが、単元未満株式を市場で売買することはできません。当社では、「単元未満株式の買取請求制度」および「単元未満株式の買増請求制度」を採用しておりますので、ぜひお手続きくださいますようお願い申し上げます。
なお、決算日・中間決算日、およびそれ以外の株主確定日前の一定期間については、受付停止期間となります。証券会社に口座をお持ちの場合はお取引の証券会社に、特別口座の場合は、上記のみずほ信託銀行株式会社にお問い合わせください。

買取・買増制度の例(170株ご所有の場合)

